



2022年2月2日

各 位

会 社 名 日本電気硝子株式会社
代 表 者 名 社 長 松本 元春
コ ー ド 番 号 5214 東証第一部
問 合 せ 先 常務執行役員 森井 守
TEL 077 (537) 1700

新中期経営計画「EGP2026」策定に関するお知らせ

当社は、この度、2022年度から5か年の新中期経営計画「EGP2026」(Electric Glass Prospects 2026)を策定しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

当社は、2019年度より3年間、中期経営計画「EGP2021」に取り組み、業績の力強い成長と同時に、人材の成長、技術基盤の成長、開発力の成長も図り、企業体質をより強くすることに注力してきました。

この間、全固体ナトリウムイオン二次電池をはじめ将来を支える製品開発を進め、同時に品質や生産性の向上に加えて、カーボンニュートラルにも資する革新的な製造プロセス技術を開発し、ディスプレイ事業の収益性向上を実現しました。また、ディスプレイ、医療分野等において積極的に投資を行い、成長市場での事業強化を行いました。ガラスファイバは欧米拠点において損益面で苦戦するも、生産体制、組織の改革は着実に進捗し成長への基盤を築くことができました。これらにより、急激な国際情勢の変化や新型コロナウイルス感染症拡大など厳しい事業環境が続く中、売上高は目標レベルを達成し、利益面では目標を上回り、着実に企業体質を強化してまいりました。

新中期経営計画「EGP2026」においては、引き続き、「世界一の特殊ガラスメーカー」の実現を目指すべく、各施策を推進してまいります。

(「EGP2021」の経営目標と実績)

	2021年12月期	
	(目標)	(実績)
売上高	3,000億円	2,920億円
営業利益	250億円	327億円
営業利益率	8%	11.2%

《新中期経営計画「EGP2026」の概要》

(スローガン)

“STRONG GROWTH” ～ 自らが変化し、スピードをあげて、やり遂げよう

(基本方針)

企業体質をより強くし、世界一環境に優しいガラスづくりを通して、「世界一の特殊ガラスメーカー」を目指す。

(期間)

2022年1月1日～2026年12月31日（5か年）

(経営目標)

- ・売上高 4,000億円（電子・情報2,100億円、機能材料・その他1,900億円）
- ・営業利益 450億円
- ・営業利益率 11%
- ・目標達成年度 2026年度

各事業分野において、成長に向けた戦略を着実に実行し、目標を達成する。

(成長に向けての重点施策)

①事業基盤の強化

- ・強固なサプライチェーンの構築
- ・工場の強健化
- ・基礎的研究開発の継続

②機動的な投資

- ・マーケットの成長やカスタマーニーズに応じた迅速な投資
- ・DXの推進とスマートファクトリーの実現
- ・M&Aの積極的な取り組み

③新事業の推進

- ・全固体ナトリウムイオン二次電池など新製品の事業化
- ・半導体分野における基板ガラス、カバーガラス、LTCC材料事業の拡大
- ・他社との協業、提携等の積極的な活用

④カーボンニュートラルの推進

- ・全プロセスの電化を進め、競争力向上との両立を目指す
- ・再生可能エネルギーへの投資と調達
- ・CO₂フリーエネルギー（水素等）の技術開発

⑤人材戦略

- ・高度な知識や技術を持つ人材の採用と育成
- ・多様な人材の登用
- ・働きやすく、働きがいのある職場の整備

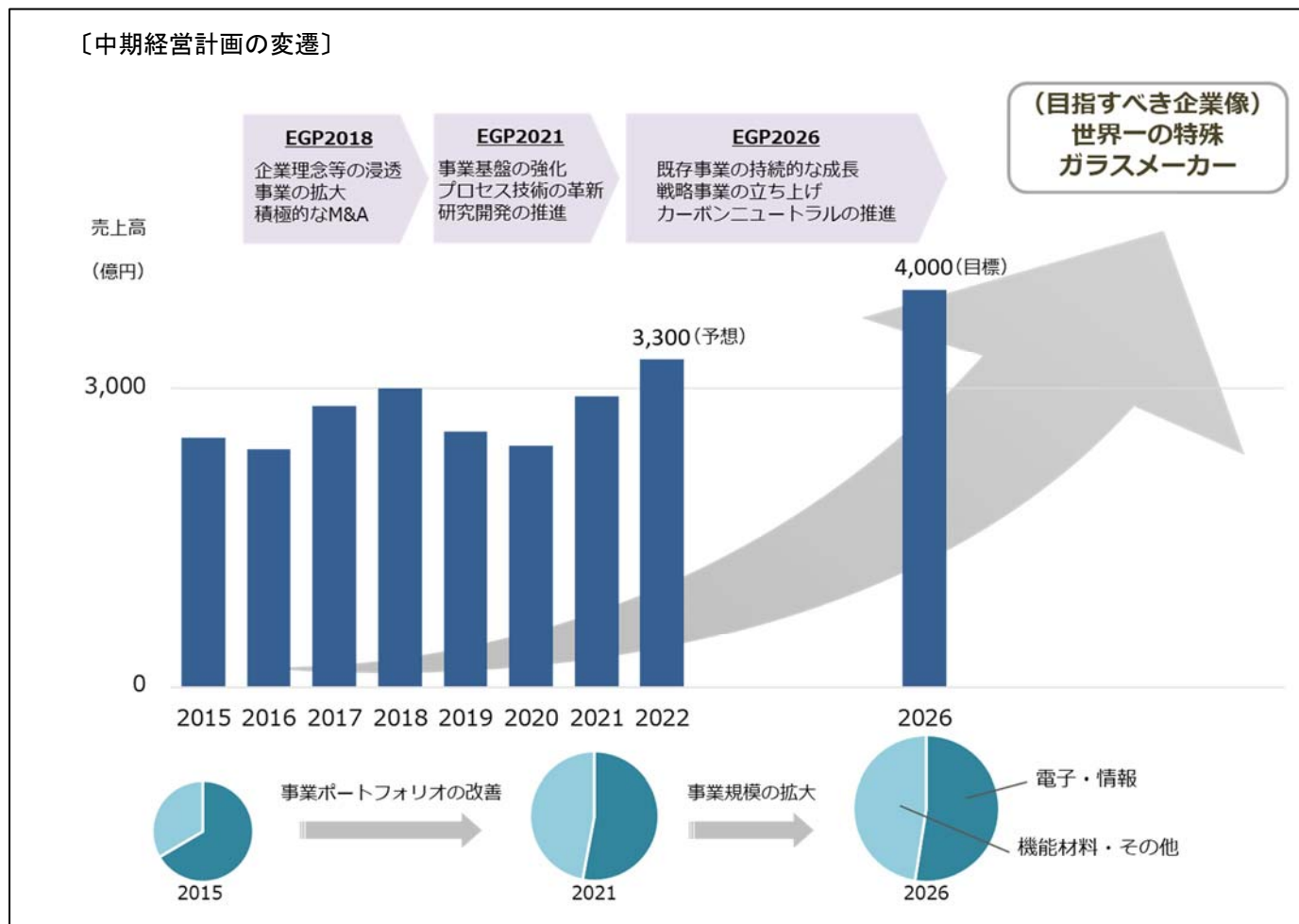
(財務方針)

- ・営業利益率は10%超に
- ・強固なバランスシートの維持

- ・総資産のスリム化による資産効率の向上
- ・キャッシュ・フローを見据えた経営

(利益還元方針)

- ・安定配当の継続（株主資本配当率（DOE）2%以上を維持）
- ・業績、財務状況等を踏まえた配当の拡充
- ・自己株式の弾力的な取得



以上